



横浜市立相沢小学校

# 学校だより

10月号

R元.9.27

## 自分を守ろう ～安全な毎日に～

校長 海老澤 孝代

朝晩に涼しい秋風が吹くようになり、だいぶ過ごしやすくなりました。9月は台風の被害や子どもの事件事故に関する報道がありました。相沢小学校では、計画的な避難訓練の実施、瀬谷警察や瀬谷消防署などの関係機関との連携を図った訓練や予防教室などを行っています。また放課後の安全な生活のための指導にも力を入れています。

保健委員会では、全校のみんながけがなく健康でいられる相沢小を目指す取組も行っていきます。9月の保健目標が『けがに気を付けよう』ということで、保健委員の皆さんが、けがについて調査しています。けがをしたらどこで（登下校中・校庭・教室など）けがをしたのか、体のどの部分をけがしたのか保健室にある図に2ヶ所シールを貼ります。「やっぱり校庭でけがをしている人が多いね。でも案外登下校中も多い。」「高学年はけがが少ないよ。」「転ぶから、ひざや腕をけがしている。」「顔もある。目も多いね。」など、シールを貼りながら話しています。この図を見ながら子どもたちは改めて気付くことが多く、いろいろ考えているようです。

養護教諭の新宅先生は、「自分の命を大切にしてほしいです。このけが調べから分かることで、自分を守ったり、けがを減らすことができたりすることにつながります。そして毎日安全な学校生活を送れることを願っています。」と話されています。

今後保健委員会で調査結果を発表してくれるそうです。けがをしないように気を付けることは、危険を予測しその場にふさわしい行動を選択すること、つまり命を守ることにつながります。

さて、明日は『ふれあいスポーツフェスティバル』です。けがなく楽しんでほしいです。子どもたちは連日の練習に励み、明日を迎えるばかりとなっています。毎年ご協力いただいている『美門会』の方々も朝早くからお越しになり、今年も相沢音頭の練習を2回行いました。『美門会』代表の竹川かほる様は、「子どもたちとみんなで踊り一緒に楽しむことが何より心地いい。私が参加するようになって20年にもなるのですよ。地域で会った時に駆け寄って声をかけてくれる子が増えました。踊る楽しさが広がってくれたら。」と話されています。他にも多くの方がボランティアとして協力し、参加してくださっています。相沢小学校のふれあいスポーツフェスティバルは、子どもたちと一緒に保護者・地域の皆様、たくさんの方々と共に力を合わせて創り上げ、そしてふれあいを深める行事です。一緒に踊りを楽しみ、競技にご参加ください。そして力いっぱい笑顔いっぱい頑張っている子どもたちに、たくさんのお応援をお願いいたします。

なお、今年は近隣の幼稚園や保育園のご協力をいただき、暑さ対策のために児童席にテントを設置いたします。



学びあい 認めあい 支えあい  
夢をはぐくむ あいざわっ子